

「エポラ浸透遮熱プライマー」はセメントやスレート系屋根に使用できる弱溶剤浸透形の遮熱プライマーです。脆弱になったスレート屋根基材などに浸透して、基材と上塗り塗膜を強固に密着させます。さらに太陽光中の近赤外線を効率よく反射することで、基材の温度上昇を抑えます。

特長

1 優れた日射反射率

JIS K 5602(塗膜の日射反射率の求め方)に準じた測定で60%の近赤外線反射率を実現しました。

遮熱塗料の下塗りとして使用することで、上塗りである遮熱塗料を透過してしまった太陽光中の近赤外線を効率よく反射し、基材の温度上昇を抑えます。

2 優れた含浸性

特殊変性エポキシ樹脂により、基材への含浸性に優れ、基材を強化します。また、上塗りとの密着性が向上します。

3 環境配慮型塗料

鉛系やクロム系の顔料を含まない、地球環境に配慮した塗料です。弱溶剤タイプのため低臭で、安心して作業ができます。

用途

- 波形スレート
- 薄型化粧スレート(コロニアル、カラーベストなど)
- 厚形スレート瓦
- コンクリート壁 など

※新設の波形スレートには塗装できません。
 ※ノンアスベストの波形スレートの場合は最寄りの営業所までお問い合わせください。

色相

- 淡グリーン(カラークリヤー)

荷姿

- エポラ浸透遮熱プライマー…………… 16kgセット

{	A液 14kg
	B液 2kg

※調合比(重量比)は、A液:B液=7:1

試験成績

試験項目	試験方法	規格	試験結果
初期付着性	JIS K 5600 クロスカット法 2mm間隔25マス	25/25	剥離無し
耐水性	JIS K 5600 浸漬時間168時間	塗膜の外観に異常のないこと	異常なし
耐温水性	60℃温水浸漬 浸漬時間168時間	塗膜の外観に異常のないこと	異常なし
日射反射率	JIS K 5602に準拠。	近赤外波長域の反射率を明記	60%

※試験成績に記載の試験結果は代表値であり、規格値ではありません。

塗装基準

※塗装仕様に関する詳細は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

- ① 下地調整 ● フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。
- ② シンナー ● 無希釈で使用してください。
- ③ 可使用時間 ● 6時間以内(23℃)です。

④ 塗装方法

塗装方法	刷毛・ローラー塗り・エアレス塗装
希釈率	0%(無希釈)
使用量	0.15~0.3kg/m ² /回※

※吸い込みが著しい下地の場合、1回につき最大0.50kg/m²まで追加塗布してください。それ以上の吸い込みがある場合や毛羽立ちの対策としてエポラオールプライマーを施工する場合は、施工間隔(2~72時間)をあけて施工してください。

⑤ 乾燥条件

乾燥条件	5℃	23℃	30℃
指触乾燥	3時間	1時間	30分
塗り重ね乾燥	4時間以上72時間以内	3時間以上72時間以内	2時間以上72時間以内

施工上の注意事項

■下地調整について

- ① 高圧水洗浄スプレー塗装では施工中のミスト飛散防止のため、十分に養生を行ってください。
- ② 高圧水洗浄(10MPa以上)ができない場合は、ホースで水を流しながらワイヤーブラシなどを用いて塵やホコリ、苔類を完全に除去してください。
- ③ 水洗い後は1日以上乾燥させてください。また、各工程において、被塗面が雨や露などで濡れている場合は十分に乾燥してから施工してください。
- ④ 油分が付着している場合は溶剤拭きなどを行い、油分を除去してください。
- ⑤ 下地の凹凸や欠損、サイディングボードの釘浮きなどの確認を行い、補修が必要な場合は適切に処理してください。
- ⑥ 改修工事の場合、既存塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、既存塗膜を侵しリフティング(塗膜のチラシ)やフクレが発生する場合がありますので、既存塗膜を必ず確認の上で塗装仕様を決定してください。塗装仕様については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ⑦ 下地の種類が不明な場合は、下塗り塗料の選定および試験施工を行ってください。

■塗料と塗装について

- ① 塗装基準はあくまで「標準」的な仕様であり、下地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより、使用量や可使用時間など多少の幅が生じることがあります。
- ② 下地の劣化が激しく吸い込みが多い場合は、施工間隔(2~72時間)をあけて、下塗り2回目を施工してください。

- ③ 施工当日から施工後翌日までに降雨、降雪が予想される場合や気温が5℃以下、40℃以上、湿度85%以上の施工は避けてください。塗膜が未乾燥状態で降雨や夜露などにあたると艶引けや白化などの原因につながります。特に冬季は乾燥に時間がかかりますので、乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。気温が5℃以上でも、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- ④ 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに施工を終了し、十分に乾燥時間を確保してください。光沢低下、フクレ、割れ、ハガシの原因になります。
- ⑤ 無石綿スレート板に施工する場合は、反りやひび割れ、フクレなどが発生する場合があります。
- ⑥ 塗料は必ず秤を用いて規定配合比で調合し、電動攪拌機などで十分に攪拌してから施工してください。
- ⑦ 塗装仕様の使用量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発現しない場合がありますので使用量を厳守して施工してください。
- ⑧ 他の塗料との混合は絶対に行わないでください。また、アルコールの混入は絶対に避けてください。
- ⑨ 塗料を小分けして使用する場合は塗料缶の内容物を十分に攪拌し、塗料を均一な状態にしてから小分けしてください。
- ⑩ 一度調合した塗料は必ず可使用時間内に使い切るようにしてください。可使用時間を過ぎた塗料は使用しないでください。なお、可使用時間は材料温度と雰囲気温度に依存します。夏場は特に短くなりますのでご注意ください。
- ⑪ シーリング面への施工は極力避けてください。塗膜の汚れや

主な適用素材

- 波形スレート
- 薄型化粧スレート瓦
(コロニアル、カラーベストなど)
- 厚形スレート瓦
- コンクリート壁 など

主な適用上塗り塗料

- パラサーモ屋根用シリーズ
- パラサーモ外壁用シリーズ

※リリフNADシリーズ、シルビアNADシリーズの下塗りにも使用できます。

- ⑫ 施工方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで下塗りが若干の色の相違がでることがあります。
- ⑬ 本製品の硬化が不十分な場合の上塗りを施工しますと、リフティング(塗膜のちぢれ)を起こす場合があります。また、上塗りまでの施工間隔があった場合、上塗りとの付着性が弱くなり、ハクリなどの原因となります。施工間隔を厳守してください。施工間隔があいた場合は、施工面をサンディング、シンナー拭き、施工面を清浄にした後、再度、「エポラ浸透遮熱プライマー」を施工してください。
- ⑭ 施工後、未乾燥状態で降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着が悪く、剥離する恐れがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ⑮ 夏季の炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置しますと、つまりの原因となります。
- ⑯ 新生瓦やスレート屋根材の重なり部分に塗料がたまると漏水などの原因になりますので、必ず緑切を行ってください。
- ⑰ 使用器具は使用後、すみやかにラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- ⑱ スラリー瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)への施工は専用下塗りをを用いる必要があります。最寄りの営業所へお問い合わせください。いびし瓦、陶器瓦への施工はできません。
- ⑲ 塗料は用途・用法を守り、カタログの仕様や注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

「エポラ浸透遮熱プライマー」の取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器など適切な手段を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、有機溶剤の蒸気を吸わないよう必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスでふき取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器(取っ手を含む)はつり上げないでください。止むを得ずつり上げる際には、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、多量の水で少なくとも5分以上洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の手当てを受けてください。誤って飲み込んだ場合は直ちに早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹸と水で十分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- エポキシ樹脂系塗料は体質により皮膚障害などの感作を受ける場合があります。医師の指導を受け必要な措置を講じてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気の良い冷暗所に保管してください。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。特に夏季に車内での保管や高温になる場所での保管は危険ですので避けてください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご採用いた

- だいたすべての人の健康を保証するものではありません。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は、揮発性の化学物質(有機溶剤など)を含有し、臭気が発生します。あらかじめ元請や施工、近隣住民への説明を行い、了解を得てください。臭気が周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触や施工を避けてください。
- 本製品は危険物です。消防法や労働安全衛生法などの適用法令に従って保管してください。また、輸送時も消防法や道路運送車両法、船舶安全法、港則法などを遵守してください。
- 本製品の取り扱い、保管については、労働安全衛生法など各種法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、安全データシート(SDS)をご参照ください。

* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■代理店

■お問い合わせ先

- 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
- 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
- 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
- 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
- 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
- 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

● 日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

ESSP-03240D-S#3 [2024年3月作成]